

平成 25 年 10 月 15 日

平成 26 年度山口大学医学部医学科第 2 年次学士編入学試験における
出題ミスについて

国立大学法人山口大学

このたび、平成 25 年 10 月 13 日（日）に実施しました「平成 26 年度山口大学医学部医学科第 2 年次学士編入学試験」の学科試験問題において、試験終了後に出題ミスがあることが判明しました。

受験生をはじめ関係の皆様にご迷惑をおかけしましたことに対しまして、お詫び申し上げますとともに、再発防止に向け万全を期す所存であります。

1 選抜区分の概要

- (1) 選抜区分 医学部医学科第 2 年次学士編入学試験 第 1 次選考
- (2) 試験実施日 平成 25 年 10 月 13 日（日）
- (3) 試験科目名及び試験時間
学科試験（必須） 9 時 30 分～11 時 00 分
- (4) 募集人員、全体の受験者数及びミス科目の受験者数
募集人員 10 名（うち地域枠 3 名以内）
受験者数 370 名（※学科試験受験者数も同数）

2 ミスの概要等（別紙参照）

本来、ニュートン[N]を導くために定義すべき“重力の加速度 $g[m/s^2]$ ”が、問題文及び選択肢において記載がなかったことが、当該試験終了後、受験者の指摘により判明した。

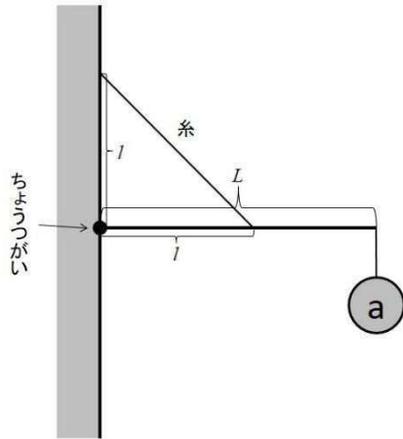
3 受験生に対する対応

同日午後に行われた小論文試験（試験時間 12 時 30 分～15 時 00 分）終了後、午前中の学科試験において出題ミスがあったこと及び今後の対応については速やかに山口大学ホームページに掲載することについて、受験生に口頭で説明を行った。

なお、この出題ミスに係る対応については、受験生全員を正解（加点）とした。

(誤)

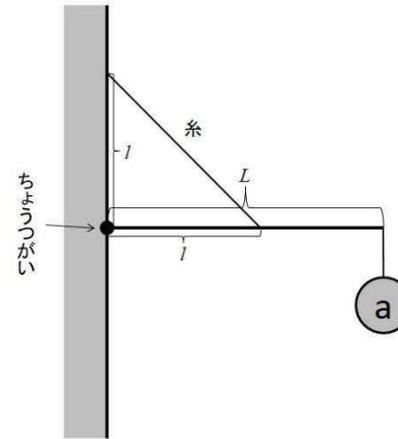
問題 1 3 図のように鉛直な壁に滑らかなちょうつがい¹で長さ L [m] の棒を取り付けた。ちょうつがいの上方 l [m] の位置とちょうつがいから l [m] の棒の位置を糸で棒が水平になるように固定した。棒の先端に質量 M [kg] の重り a をつけたときの糸の張力 T [N] として正しいのはどれか。ただし棒および糸の質量は無視でき、棒自体は十分に固く変形しないものとする。



- A $\frac{LM}{l}$
- B $\frac{lM}{L}$
- C $\frac{\sqrt{2}l}{LM}$
- D $\frac{LM}{\sqrt{2}l}$
- E $\frac{\sqrt{2}LM}{l}$

(正)

問題 1 3 図のように鉛直な壁に滑らかなちょうつがい¹で長さ L [m] の棒を取り付けた。ちょうつがいの上方 l [m] の位置とちょうつがいから l [m] の棒の位置を糸で棒が水平になるように固定した。棒の先端に質量 M [kg] の重り a をつけたときの糸の張力 T [N] として正しいのはどれか。ただし棒および糸の質量は無視でき、棒自体は十分に固く変形しないものとし、重力の加速度を g [m/s²] とする。



- A $\frac{LMg}{l}$
- B $\frac{lMg}{L}$
- C $\frac{\sqrt{2}l}{LMg}$
- D $\frac{LMg}{\sqrt{2}l}$
- E $\frac{\sqrt{2}LMg}{l}$